

不適切な保育914件 国が初調査 虐待90件

「罰を受ける」「齎迫的な言葉がけ」といった「不適切な保育」について、JISも家庭庁は12日、国へし初の実態調査の結果を公表した。昨年4～12月と、市町村が不適切保育と確認したケースは、全国の認可保育所で914件あった。

▼3面II定義あいまい

通報義務化へ法改正検討

不適切保育の捉え方の認をしたのは1492

ほりうきや、情報共有といつた課題も浮き彫りになり、園は新たなガイドラインを策定した。不適切保育には虐待事案も含まれていたことから、保育士による虐待があった場合に通報義務を課す法改正も検討する。

調査は、昨年発生した、保育士による暴行事件を経て実施。「罰を与える」など五つの類型を不適切な保育と定義した。その結果、全国の市町村が「不適切な保育が疑われる」として事実確

認可保育所

の人格を尊重しない関わりが42%で最多。「物事を強要するような関わり・脅迫的な言葉かけ」(37%)、「腹をきつく捏ねる・乱暴な関わり」(30%)などと続いた。

不適切保育に関する報告の基準や手続等を保育所などに周知している自治体は29%で、不適切保育に関する情報共有に課題があることがわかった。

自治体を通じて認可保育所に不適切保育の件数を尋ねたところ、計1万

ただ、0件と回答した保育所が73%だった一方、500件以上と答えた施設もあり、件数に大きなばらつきが出た。回答は「不適切な保育の捉え方によって、回答が相當ばかりが出てくる」もしんでいる。
(高橋健次郎)

<p>件。うち914件が認定された。この中で「虐待」と確認されたケースでは、『子ども一人一人</p>	<p>が90件あった。</p>	<p>市町村が確認した 「不適切な保育」 914件</p>
		<p>うち「虐待」と確認 90件</p> <p>虐待</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理的虐待 42件 ・身体的虐待 36件 ・性的虐待 20件 ・ネグレクト 4件 <p>こども家庭庁の調査から 虐待の内容が重複する場合もあり、全体件数と一致しない</p>

「不適切な保育」定義あいまい

国調査「氷山の一角」との見方も

「不適切な保育」よりも、園としての初の実態調査結果があげられた。それから伸び上ったのは、「不適切な保育」から「組織的定義、実態把握の難しさが現出され、抜け漏れの取り組みが続く。ただ、自効努力には限界がある。

あるいはそれが残る。
ある保育園長は「例え
ば、園児に大きな手を出
すことには虐待ではない
が、適切な保育とは言え
ない」といふ。〔監修者
註〕

助努力のみに任せではない
けない。園全体の運営の
問題として、何が不適切
保育なのか、仮に発生し
たりどうするのか、とい
つて、园と組み合
で、园側から、日々の保育
で「過度しつけ」関わらな
いで、「虐待しつけ」関わり
と疑われる事案があ
れば园治体に相談する

園）では、17年から独自のガイドラインを定めている。昨年の暴行事件を受け、不適切と思われる事を発見した職員は、会議を毎日実施し、保健士のリーダーを務めた中で気になるケースがなにか共有しているが、会議時間は子どもたちが園

「記者の政治的風見」なども家庭用の担当者は記者会見で、この程度も述べた。

けのガイエラインを作成。「不適切な保育」について、「虐待」が繰り返される事案」と

などと呼ぶべき「新規の事業」にならぬから、適切な保育がでるべきだと拡大解釈してしまった園が出てしまつたのは」と話す。

保育問題に詳しい藤井豊弁護士は、「保育士の自

「あら、どうした？」と抱き合ひながら、文
也がくしゃみをした。
「あら、どうした？」と抱き合ひながら、文
也がくしゃみをした。

血筋をもつて、次第に本領へと進化する。これが、アーチャーのロードである。また、保護士が爾先の指導計画や記録を作成すれば、これが過度な負担にならぬよう心がけ、理解し易い圖形で示す。

「その場で指揮し段階中止を求める」などの項目を追加した。
保育研究所長で、自身も認可保育園を運営する元帝京大教授の村山祐一さんは、「不適切保育を防ぐには、現場の保育士の心が欠かせない」と語る。
三井さんの感想する園では、整備の議論を抜きに環境基盤を増やすなど環境全体の意識で情報を共有したいのが余裕はない。村山さんは「現場で指摘合い、気になつたら『やめよ』と代わる」と言い出せる余裕がないと不適切な保育の兆候を止められないのではないか。記述

自己点検リスト・見たらその場で指摘

現場独自の工夫

れ、具体的な行動が個々に「イメージでない」とか「何が不適切保育なのか分からず、「答えていい」「どうぞ」という声が保育園園長から相次いだという。結果として、今回の件数は「水山」の一角と過ぎない、との見方もある。

したがって、現場調査官は、現場回

現場独自の工夫

が起きた後、アクセスが急増。子どもの人権に配慮で苦心するなどといった視点で日本の保護を自己点検するものだ。国が活用を促したこともあり、注目が高まった。

北九州市の認定NPOも「あけぼの愛育保育園」は2011~12年からリスタートを使った研修を年2

「わからぬが、通じのよさだもつなかつたが」
「東京都内の認可保育園」といふ題で、
かうしたが、と意見を聞こ
わすくはれたる、園の風
る」 と書いた。

間断續の保育士に対象を拡大。自己点検後、同じクラスの保育士の間で、結果をもとに何かた点や悪かった点を話し合っている。

つたが、心意見を書いた
やうなやうだめ、國の風
しのよれどもつねが
る」叫んだ。
東京都内の認可保育園
「ねむだかなか保育園

金の腰十郎が、

われじこね」ハシマ。
（三野町、松井千鶴、井戸）